

広島商工会議所（小売商業部会）の上海商業事情視察会

洲澤 輝

6月7日～9日にかけて広島商工会議所小売商業部会の視察団が上海の商業事情の調査に来訪されました。皆様もご存じのとおり、近年の上海は凄まじい勢いで経済が発展しています。その勢いを肌で感じる事で新しい発想を得て、それをビジネスへと繋げていこうとの視察であります。参加者は計7名。扱う商品分野も年齢も幅広く、各々様々な感想を持たれたのではないかと思います。

＜視察先等について＞

今回、当事務所では現地での最新経済情報等のブリーフィングや視察先等の相談など、事前のお手伝いをさせて頂きました。視察先は、新しいビジネスの発想の惹起という観点から、上海の過去から現在への変遷、そして未来につながる街のモザイクをすべて体感していただけるよう検討しました。昔ながらの水郷に発達した商業エリアにはじまり、急成長を遂げる活気あふれる市街地、その中で展開される最先端のIT技術を駆使したサービスを提供する商業施設等を高い密度で視察することで、日本、広島には無い“モノ”や“サービス”を直接肌で感じて頂けたと思います。

＜参加者の感想＞

参加の皆様からも「中国、上海のイメージが180度変わった」、「想像していた街と全く違う」など、驚きの声を多数頂きました。

今回の上海視察を通じて中国（上海）を肌で感じる事ができました。そして、何でも行動し、見聞きする事の大切さを改めて感じました。本当に中国（上海）の経済発展のスピードの速さには驚かされるばかりでした。今回の視察で得た物を広島に持ち帰りどの様に活かしていくかをじっくり検討したいと思います。

3、4年前の訪問時と比べると、上海はエコ意識の目覚めから、自転車や電動バイク・EV車も増えており、携帯一つで生活のほとんどがカバーできる社会に変化していることに驚きました。また、老朽化した建物や農用地であった場所に次々と高層ビルが建設され、上海の勢いを肌で感じる事ができました。とにかく日本とのスピード感が全く違います。我々も日本国内では企業として生き残るのが難しいのではと感じている中で、中国の人口の多さは魅力の一つと思っています。何を売り込めるのか、早急に見つけなければと思っています。

～視察先～

■歴史的商業エリア

田子坊：昔ながらの路地裏に潇洒な雑貨店や衣料品店が数多く並ぶ。連日多くの若者で賑わう。

新天地：上海特有のレンガ造りの長屋風集合住宅「石庫門」をリノベーションした商業集積地。

朱家角：発達した水路の要衝として古くから発展した水郷古鎮。「小橋、流水、人家」の昔ながらの江南水郷である下町。

■活気あふれる市街地商業エリア

City super：日本人が香港で創業したスーパー。

品揃えに定評があり、上海では5店舗を展開。

上海環貿広場：上海きっての商業街・淮海中路の中でも、最も賑やかなエリアの巨大ショッピングモール。

上海書城：上海最大の書店。膨大な書籍が7階建の各フロアに分野別に陳列。

自動車販売店 BYD：中国最大手の電気自動車（EV）メーカーの販売網。

■最先端IT店舗

盒馬鮮生：デリバリーに対応した上海でも最先端の生鮮食品スーパー。現在、上海市に16店舗展開。

無人コンビニ：スマートホンの専用アプリを利用し購入。レジに並ぶ必要が無く時間が節約できる。

（スマホ決済のレジ無店舗）



＜今回の視察団の受け入れを終えて＞

かつて私がそうであったように、日本から見る中国、上海での生活や、中国ビジネスに対してはネガティブなイメージを持つ方もまだ少なからずおられると思います。しかし、私も実際に上海に来て生活し、現地の人と交流する事で多くの“勘違い”に気づきました。メディアの情報は大切ですが、実際に現地へ出向き、自分の目で見て体験し、そこで感じて得た情報が一番正しい情報だと思います。

現地を体感するのは今回の様な視察会も一つの手段だと思います。是非、皆様も力強い中国経済の脈動とIT技術の発展を背景とし次々と顕在化するユニークな新ビジネスの視察に上海にお越しください。